

各 位

2017年7月20日

株式会社 オロ

日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社、 クラウド ERP「ZAC Enterprise」導入によりバックオフィスの生産性を向上

株式会社オロ（東京都目黒区 代表取締役社長 川田 篤、以下オロ）は、日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社（東京都江東区 代表取締役社長 今村 康、以下日本ユニシス・エクセリューションズ）がクラウド ERP「ZAC Enterprise」導入によりバックオフィスの生産性を向上したことを発表、併せて導入事例インタビューを公開いたしました。



<インタビューピックアップ>

- ・旧来のシステム運用時に顕在化していた経営課題とは？
- ・パッケージ開発・販売・保守業務の損益管理システムとして ZAC を選んだ理由とは？
- ・ZAC が経営企画部門、経理・会計部門にもたらした効果とは？

■システムリプレースのきっかけは、老朽化・内部統制への対応・収支情報の分散

日本ユニシス・エクセリューションズは純国産 3 次元 CAD/CAM システム「CADmeister」やポリゴン編集システム「POLYGONALmeister」、住宅設計を支援する CAD システム「DigiD」などの開発・販売・保守サポートまでを一貫して提供する、日本ユニシスグループのソリューションプロバイダーです。同社においては、旧システムの老朽化が喫緊の課題として顕在化しており、更に内部統制への対応、収支情報の分散といった複数の課題が存在していました。

■販売管理とプロジェクト原価管理の一体化により、バックオフィスの生産性を向上

旧来の体制では販売購買管理システムと、SE や開発者の原価を管理するプロジェクト原価管理システムが別々に存在しており、案件や商品単位の利益が分かりにくいことが課題でした。ZAC 導入により販売管理・購買管理・プロジェクト原価管理が一体化され、より正確な損益管理や売上・原価予測が可能になりました。特に ZAC 導入の効果は経営企画部門や経理・会計部門において顕著に見られており、これまで難しかったエンドクライアント別の分析や、損益見通し資料作成の簡易化が実現しました。さらに、連結決算報告レポート作成にかかる時間をおよそ 1/2 程度に削減、業務の抜け漏れ防止により間接業務も削減されています。

ZAC 導入により、パッケージベンダーならではの業務課題をどのように解決したのか。

日本ユニシス・エクセリューションズ様の導入事例インタビューをぜひご覧ください。

【ZAC 導入事例インタビュー】

<https://www.oro.com/zac/casestudy/case55.html>

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社オロ マーケティンググループ 担当：藤澤 TEL：03-5843-0653 / Mail：zac@jp.oro.com

■ クラウド ERP「ZAC Enterprise」の特長

「ZAC Enterprise」はプロジェクト別・案件別の利益管理を実現するクラウド ERP です。プロジェクト管理・販売管理・購買管理・勤怠管理・経費管理から管理会計・BI ツール・グループウェア機能を有し、業務効率化による生産性の高い利益体質の組織を実現します。2006 年の提供開始以来、400 社以上の導入実績、100,000 ライセンス以上の販売実績を有しております。

特長1 クラウド SaaS 対応の ERP

クラウド・SaaS 型によるサービスの提供により、サーバー等のシステム導入に伴う各種設備投資が不要となります。日々のデータのバックアップやメンテナンスなどの保守・運用はオロのデータセンタで管理されるため、運用にかかる固定費・人件費の削減と、災害など有事の際の対策を実現します。

特長2 パラメータ設計の機能優位性

「ZAC Enterprise」はユーザー企業個々の要望に対して、パッケージ内部のパラメータを設定することにより機能適合するため、個別開発を必要とする従来システムに比べ、低コスト・短期間での ERP 導入を実現しています。パラメータはユーザーの要望を反映し日々追加されるため、常に成長・進化を続ける設計となっています。



パラメータ設計のイメージ

特長3 広告・IT・コンサルティングなどのサービス業に特化

「ZAC Enterprise」は広告業・IT サービス業・ソフトウェア開発業・コンサルティング業などのサービス業に特化しています。プロジェクト管理会計、個別原価計算など、上記業種・業態に必要とされる機能要件・仕様をパラメータとして多数保有しており、サービス業のベストプラクティスを多数搭載した ERP と言えます。

主な導入企業（順不同）

株式会社カヤック	株式会社サニーサイドアップ
株式会社 JAL インフォテック	株式会社ベクトル
株式会社クロス・マーケティング	株式会社京急アドエンタープライズ
住友林業情報システム株式会社	株式会社 JTB プランニングネットワーク
みらいコンサルティング株式会社	株式会社アイ・エム・ジェイ
株式会社 INA 新建築研究所	太陽有限責任監査法人

■ 株式会社オロについて <https://www.oro.com/>

オロは、創業以来、「より多くの幸せ・喜びを提供する企業」になることを経営理念と定め、事業運営を行っています。その実現のために、「Technology×Creative」をスローガンに最先端の技術分野に挑戦し続け、テクノロジー・オリエンテッド・カンパニー（技術志向の企業）として、企業の内側と外側を強くするソリューションを提供しています。企業の内側を強くするソリューションとは、業務効率化や生産性向上などの経営課題を解決するサービスのことで、クラウド ERP「ZAC Enterprise」の開発を中心に、IT ソリューションを提供しています。企業の外側を強くするソリューションとは、企業が外部に対して行うマーケティング・広報・採用活動を支援するサービスのことで、デジタルを基軸としたコミュニケーション戦略の立案・実行を中心とするウェブマーケティング、ウェブインテグレーションを提供しています。

■ 会社概要

社名	株式会社オロ	https://www.oro.com/
設立	1999年1月	
代表者	代表取締役社長	川田 篤
従業員数	単体 196人 / 連結 320人	(2017年1月31日現在)
事業内容	ビジネスソリューション事業	<ul style="list-style-type: none">・クラウド ERP「ZAC Enterprise」 (https://www.oro.com/zac/) の開発・提供・クラウド PSA「Reforma PSA」 (https://www.oro.com/reforma-psa/) の開発・提供 コミュニケーションデザイン事業 (https://www.oro.com/cd/) <ul style="list-style-type: none">・企業のデジタルマーケティング支援 (https://www.oro.com/cd/)・企業のグローバルコミュニケーション支援 (https://www.oro.com/global/)
所在地	東京本社	東京都目黒区目黒 3-9-1 目黒須田ビル
	西日本支社	大阪府大阪市中央区伏見町 4-4-1 日生伏見町ビル本館 7階
	中部支社	愛知県名古屋市中村区名駅 4-6-23 第三堀内ビル 9階
	北海道支社	北海道札幌市中央区北一条西 6-2 損保ジャパン日本興亜札幌ビル 4階
国内子会社	株式会社オロ宮崎	宮崎県宮崎市橘通西 2-4-20 アクア宮崎ビル 3階
海外現地法人	中国・台湾	欧楽科技（大連）有限公司 欧楽科技（大連）有限公司 上海分公司 欧楽科技（大連）有限公司 広州分公司 大連奥楽广告有限公司 台湾奥楽股份有限公司
	ASEAN	ORO Malaysia Sdn. Bhd. ORO Vietnam Co., Ltd. ORO (Thailand) Co., Ltd.